

福武ハウス

アジア・ギャラリーの開館及び

瀬戸内国際芸術祭2022会期中の取り組みについてのお知らせ

福武ハウス（小豆島町福田地区、香川県）では瀬戸内国際芸術祭 2022 の会期中、アジア・ギャラリーの展覧会「時代の風景・時代の肖像+++」の開催、小豆島の間伐材を活用した新たなテラススペース「葺田の森テラス」の運営や小豆島の食材や風土を取り入れたお弁当の開発、またワークショップなど様々な活動を予定しております。

皆様には、告知協力をお願いするとともに、ぜひご取材賜りますようお願い申し上げます。



インディゲリラ《Sahabat Alam / Friend of Nature》(ペールグリーンバージョン) 2019 / 2022

福武ハウスアジア・ギャラリー展覧会 「時代の風景・時代の肖像+++」

福武ハウス（小豆島町福田地区、香川県）のアジア・ギャラリーでは、2020年に公開した展示内容に作品を追加・再構成して、改めて「時代の風景・時代の肖像+++」というタイトルのもとに展覧会を開催します。

ベネッセアートサイト直島では、1998年に中国出身の蔡國強が「文化大混浴一直島のためのプロジェクト」をベネッセハウスで完成させ、2016年からはシンガポール・ビエンナーレにベネッセ賞を移行させるなど、活動の最初期からアジア地域のアートに着目し、アーティストとの交流や作品の収集を重ねてきました。本展では、第12回ベネッセ賞を受賞したアマンダ・ヘンの写真作品や、これまであまり展示されることのなかった主要な所蔵作品等を紹介しています。これらの作品は、「1970年」、「バブル経済期」、「スクラップ&ビルドと都市化」といった、ある時代社会を色濃く反映するものから、より個人的な時代体験、世代間の差に言及するもの、あるいは、その時々最新の技術や素材を用いて伝統や普遍的な精神性を表そうとするものまで、異なる時代やその変遷について様々な思索を促します。また、アーティスト自らの身体を用いた表現も特徴的で、大きな時代のうねりの中で「私」という個人的な存在を通して、個と社会の関係や表現の可能性を探る姿が注目されます。

今回の再オープンでは、2020年以降コロナ禍で公開日が限られていたこともあり、瀬戸内国際芸術祭 2022 の開催時期にあわせて、潘逸舟（はん・いしゅ）が新たにこの場所のために制作した作品などを加えて再構成し、より充実した内容になっています。異なる「時代」や「私と社会・環境」といったキーワードを通して作品群をみることで、私たちの生きる現代社会や自然環境、人間の生、さらには、ベネッセアートサイト直島の理念にある「よく生きる」について改めて考える機会になれば幸いです。

取材・掲載の際には、下記までご連絡ください。

ベネッセアートサイト直島 広報担当 太田・宮重

〒761-3110 香川県香川郡直島町2249-7 Tel.087-892-2550 Fax.087-892-2011

E-mail press@fukutake-artmuseum.jp <https://benesse-artsite.jp/>

○アーティスト（アルファベット順）

アマンダ・ヘン、Chim ↑ Pom、潘逸舟（はん・いしゅ）、ヒルミー・P・スパドモ、インディゲリラ
カンチャナ・グプタ、近藤亜樹、森万里子、森村泰昌、パナパン・ヨドマニー、ズルキフリ・マハムード



潘逸舟《よりそう鳥籠》2022 中国桃花島家プロジェクト展示風景、構想ドローイング



潘逸舟《ぬりえ》2022

○開催概要

開館期間

：瀬戸内国際芸術祭 2022 会期中

【春】2022年4月14日（木）～5月18日（水）35日間

【夏】2022年8月5日（金）～9月4日（日）31日間

【秋】2022年9月29日（木）～11月6日（日）39日間

開館時間

：9:00～17:00（最終入館 16:30）

休館日

：瀬戸内国際芸術祭 2022 会期中は無休

鑑賞料金

：510円（15歳以下無料）

会場

：福武ハウス（香川県小豆島町福田 718-1）福田港より徒歩8分 / 土庄港より車50分

キュレーション

：三木あき子

主催

：公益財団法人 福武財団

協力

：株式会社ベネッセホールディングス、小豆島町、福田地区自治連合会

取材・掲載の際には、担当者までご連絡いただくか、専用ページよりお申し込みください。

| 取材申し込み専用ページ | <https://benesse-artsite.jp/contact/press/>

■ 葺田の森テラス

葺田八幡神社の鎮守の森は、かつて集落の憩いの場であり、学びの場であり、また舞台やお祭りの行われる賑やかな場所として福田の地域で愛されてきました。このテラスに地域の方だけでなく、施設を訪れる方やアーティスト達が集まることで、世代も国籍も越えた交流の場になることを願って、福田の古い地名「葺田（ふきた）」から、「葺田の森テラス」と名付けました。ウッドデッキの素材には小豆島の間伐材を活用し、福田の地域の方にもご協力をいただき制作をしました。

「葺田の森テラス」を訪れ、親しい人と話したり自然の景色をゆっくり眺めることで、せわしない日常をひと時離れ、「今日を生きること」の複雑さ、鮮やかさに思いを馳せる時間となって欲しいと思います。



営業時間：9:00～16:00（お弁当の提供は11:00～売り切れ次第終了）

○設計：Hiyok. 佐々木 恵（ささき めぐみ）

1979年神奈川県生まれ。多摩美術大学環境デザイン学科卒。一級建築士。

インテリアデザイン事務所を経て、Architects Atelier Ryo Abe 入所。瀬戸内国際芸術祭 2010 にて豊島の「島キッチン」を担当。2012年より小豆島に在住しながら同事務所にて、「あわくら温泉元湯」ほか、宿泊、観光施設などの設計に携わる。2020年「Hiyok.」一級建築士事務所設立、建築の視点から肥沃していく豊かな場づくりを目指し、地域、人、環境、歴史を探りながら現在、住宅・店舗設計、茅葺き計画、他、進行中。

取材・掲載の際には、担当者までご連絡いただくか、専用ページよりお申し込みください。

| 取材申し込み専用ページ | <https://benesse-artsite.jp/contact/press/>

○テラスで提供する食事とドリンクなどについて

菖田の森テラスのある小豆島の美しい景色は、島の豊かな食材が育つ美しい景色でもあります。山の頂に湧く清水を利用した棚田のお米や、森の中で育つ原木椎茸、温暖な気候に適したオリーブに柑橘、畑で採れた野菜たち。里山の先には美しい海が見えます。そんな小豆島の美味しい魅力をぎゅっと詰めて、2種類のお弁当を作りました。また、福武ハウスの「アジア」をテーマに島の珈琲豆屋「加納珈琲」で焙煎・ブレンドしてもらったオリジナルコーヒーをはじめ、季節を閉じ込めたハンドメイドシロップ、ジェラートや焼き菓子も用意しています。鳥の声が聴こえるテラス席にて、是非お召し上がりください。

※島の間伐材で作った、再利用可能なお弁当箱を使用しています。テラスでのみお召し上がりいただけますのでお弁当はお持ち帰りできません。事前予約可。



(1) 福田の潮風弁当

生姜の効いた酢飯に、揚げて旨味を凝縮させた小豆島の島鱧をのせ、潮風にふかれ育った島の食材たちが詰まった福田の潮風弁当。

(2) 福田の里山弁当

オリーブや畑で採れた野菜を合わせ里山の風景から生まれた食材を盛り込んだお弁当。干し椎茸や干しエビのちまきを、お豆腐屋さんのお揚げでつつみました。



○お弁当監修：安田花織

在日韓国人の祖母と農家の日本の母の味、2つの豊かな食文化に触れながら育つ。高校卒業後、懐石料理店、オーガニックコミュニティカフェなどを経て独立。土地に根ざした食文化を学びに各地に足を運ぶかたわら、各地で出会った食材でケータリングを行い、見聞きした先人達の知恵を暮らしに落とし込む、料理教室や食のイベントを開催中。「ヤスタ屋」主宰。

取材・掲載の際には、担当者までご連絡いただくか、専用ページよりお申し込みください。

| 取材申し込み専用ページ | <https://benesse-artsite.jp/contact/press/>

「福田からのお手紙」展 時を越え、場所を越えて語りかける、手紙のように

小豆島の東に位置し、海と山に囲まれた福田地区。播磨灘に開いた港を持ち、昔から漁や石材の積み出し港として様々な人が行き交い、生活してきました。社叢を背にした神社や高台から海を望むお寺、秋祭りの太鼓台、獅子舞などの文化資源は今なお豊かに残っています。

本展では、地域の方から集めた、今に続く地域の姿を映した古い写真を通して、土地の姿をみなさんにお届けし、一緒にこの先に続く未来へと思いを巡らせてみたいと思います。

○開催概要

開館期間

：瀬戸内国際芸術祭 2022 会期中

【春】2022年4月14日（木）～5月18日（水）35日間

【夏】2022年8月5日（金）～9月4日（日）31日間

【秋】2022年9月29日（木）～11月6日（日）39日間

開館時間

：9:00～17:00（最終入館 16:30）

休館日

：瀬戸内国際芸術祭 2022 会期中は無休

鑑賞料金

：無料

会場

：福武ハウス（香川県小豆島町福田 718-1）福田港より 徒歩 8 分 / 土庄港より 車 50 分

主催

：公益財団法人 福武財団

協力

：小豆島町、福田地区自治連合会



ベネッセアートサイト直島の新型コロナウイルス対策についてはこちらのウェブサイトをご覧ください。

<https://benesse-artsite.jp/covid-19.html>

取材・掲載の際には、担当者までご連絡いただくか、専用ページよりお申し込みください。

| 取材申し込み専用ページ | <https://benesse-artsite.jp/contact/press/>